



春の運動会・体育祭開催（須恵小学校、本山小学校、埴生小中一貫校、高千帆小学校）

雨天で順延になった2つの小学校の運動会が、18日の日曜日に開催されました。

須恵小学校では、グラウンドがすっかり乾いて絶好の運動会日和のもと、『みんなが主役、全力発揮』をスローガンに、3・4年生が「ロックソーラン2025」、1・2年生が「待ちに待った☆舞台で光るわたしたち」、5・6年生が「Fly so higher ～高学年のその上へ～」の団体演技を披露しました。入学して間もない1年生が音楽に合わせて元気いっぱいに演技したのを始め、どの学年の児童も体全体で表現していました。



本山小学校の地域参加型運動会「おねがい地域のみなさん！」では、児童がくじに書かれてある人、たとえば帽子をかぶっている人、本山小学校の卒業生などを見つけて一緒に走る競技で、大いに盛り上がりました。子どもたちは、地域の人と一緒に競技ができて楽しかったと話していました。最後は、保護者や地域の方々、中学生など全員が参加した本山音頭で締めくくり、本山校区らしい運動会になりました。

翌週も雨天順延で、25日に8校の学校で運動会が行われました。

埴生小中一貫校の開会式では、どんな体育祭にしたいかという校長先生の問いかけに、中学3年女生徒が、みんなて協力して最高の体育祭にしたいと答えました。校長先生は、スローガン中のcollaborateの意味を、相手を大切に思い相手の立場になって応援することと説明されました。その後の演技や競技でも、児童生徒一人ひとりのきびきびとした動きや全員が力を合わせて躍動する姿に大きな拍手が贈られていました。



高千帆小学校では、保護者や地域の皆さんが、早朝から自主的に運動場に残った水を取り除いてくださり、運動会が始まりました。親子競技では、6年生と保護者が一緒に綱を引いたり、6年生対保護者対抗で保護者が意地を見せたりしました。1・2年生の表現では、途中で突然電源が切れるというハプニングがありましたが、再開後、腕を大きく振ったり跳び上がったりしながらかわいくかっこよく踊っていました。